

令和6年度広島大学特別支援学校教諭免許法認定講習

シラバス

1) 視覚障害者の教育課程法及び指導法

開設科目（授業科目）名	視覚障害者の教育課程及び指導法（R6 認定講習）	
講師名	広島大学大学院人間社会科学研究科 講師 森まゆ	
開講期日	令和6年8月3日～4日	
講 義 内 容		
視覚障害教育・特別支援学校（視覚障害）における教育課程編成とその特色及び教科や自立活動の指導の学習を通して、幼児児童生徒の視覚障害の状態や特性等を踏まえた授業の設計、個別の指導計画、教育課程の編成、カリキュラムマネジメントに関する理解を深める。 視覚障害教育の基礎となる視覚障害児の特性、教育課程の編成や評価、指導法、制度の枠組み、各種の指導計画に基づく教育の実際について理解する。		
一 日 目	8:45-9:00	オリエンテーション
	講義1 (9:00-10:30)	視覚障害児と学びの場（教育課程の意義とその編成）
	講義2 (10:45-12:15)	視覚障害乳幼児の発達と支援
	講義3 (13:15-14:45)	盲児の指導
一 日 目	講義4 (15:00-16:30)	弱視児の指導
	講義5 (9:00-10:30)	点字
	講義6 (10:45-12:15)	教科の指導
	講義7 (13:15-14:45)	視覚障害児の自立活動の指導・個別の指導計画
	講義8 (15:00-16:30)	キャリア教育・進路指導（前半）、単位認定試験（後半）

【携行品】

① 教科書を指定します。ご持参ください。

青柳まゆみ・鳥山由子（編著）（2020）「新・視覚障害教育入門」ジアース教育新社
ISBN978-4-86371-533-2

② 教科書以外に、以下のものの持参をお願いします。

- ・アイマスク・タオル等、目隠しできるもの
- ・ハサミ（なければなくてもよい）
- ・A4サイズの紙（ノート・裏紙可）1～2枚

2) 聴覚障害者の心理・生理・病理

開設科目（授業科目）名	聴覚障害者の心理・生理・病理（R6 認定講習）	
講師名	広島大学大学院人間社会科学研究科 准教授 林田真志	
開講期日	令和6年7月27日～28日	
講 義 内 容		
<p>聴覚障害の心理・生理・病理に関する基礎的事項として、聴覚の構造と機能、聴知覚、聴覚障害の原因疾患、聴力の評価、聴覚補償機器の機能と活用方法、障害認識について学習する。それらの事項をふまえ、聴覚障害が環境把握やコミュニケーション、言語情報処理や読み書き、教科学習、自己肯定感に及ぼす影響について理解を深める。また、家庭や関係機関との連携に関する事項として、聴覚障害のある子どもをもつ保護者にむけた支援、聴覚障害者の多様な生き方について学習する。</p>		
一 日 目	8:45-9:00	オリエンテーション
	講義 1 (9:00-10:30)	きこえの仕組み
	講義 2 (10:45-12:15)	聴覚障害の原因ときこえにくさの特徴
	講義 3 (13:15-14:45)	聴力の評価方法
	講義 4 (15:00-16:30)	聴覚補償機器の機能と活用方法
二 日 目	講義 5 (9:00-10:30)	聴覚障害のある子どもをもつ保護者の支援と多職種連携
	講義 6 (10:45-12:15)	聴覚障害のある子どものコミュニケーションと言語発達
	講義 7 (13:15-14:45)	聴覚障害のある児童生徒の障害認識と自己肯定感
	講義 8 (15:00-16:30)	講義のまとめ（前半）、単位認定試験（後半）

【携行品】

インターネットに接続可能な機器（スマートフォンやタブレット端末、ノート PC 等）

3) 知的障害者の教育課程及び指導法

開設科目（授業科目）名	知的障害者の教育課程及び指導法（R6 認定講習）	
講師名	広島都市学園大学子ども教育学部 教授 竹林地 毅	
開講期日	令和6年12月23日～24日	
講 義 内 容		
特別支援学校の教育課程の意義、各学部や各段階のつながりを踏まえた教育課程の編成方法とカリキュラム・マネジメントの考え方を論じる。また、知的障害のある児童生徒の学習上の特性等を踏まえた各教科等の指における配慮事項、各教科等を合わせた指導の単元・題材づくりと具体的な授業場면을想定した授業法を論じる。		
一 日 目	9:00-9:10	オリエンテーション
	講義1 (9:10-10:40)	知的障害のある児童生徒の学習上の特性と教育的対応の基本
	講義2 (10:50-12:20)	特別支援学校（知的障害）の各教科（目標と内容の段階、各学部のつながり）と教育課程の編成と授業の形態
	講義3 (13:20 -14:50)	授業の考え方と実際（教科別の指導と配慮事項）
一 日 目	講義4 (15:00-16:30)	授業の考え方と実際（各教科等を合わせた指導－生活単元学習：単元開発と単元配列）
	講義5 (9:10-10:40)	授業の考え方と実際（各教科等を合わせた指導－遊びの指導と日常生活の指導：題材開発と教材教具の工夫）
	講義6 (10:50-12:20)	授業の考え方と実際（各教科等を合わせた指導－作業学習：工程分析と単元化）
	講義7 (13:20 -14:50)	授業の考え方と実際（自立活動の指導：時間の指導と各教科等と関連した指導）
	講義8 (15:00-16:30)	授業改善とカリキュラム・マネジメントの考え方と実際 試験（記述式）

【携行品】

①特別支援学校の学習指導要領とその解説を持参してください。

- ・特別支援学校小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月）
- ・特別支援学校高等部学習指導要領（平成31年2月）
- ・特別支援学校学習指導要領解説総則編（幼稚部・小学部・中学部）（平成30年3月）
- ・特別支援学校学習指導要領解説各教科等編（小学部・中学部）（平成30年3月）
- ・特別支援学校学習指導要領解説自立活動編（平成30年3月）

文部科学省のHPからダウンロードし、ノートパソコン等に入れて持参されることも可とします。

(http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/main/1386427.htm)

②単元・題材開発の演習をします。洗浄・乾燥済みの缶コーヒー等の空き缶1個、ペットボトル（容量は問いません）1個を持参してください。

4) 肢体不自由者の教育課程及び指導法

開設科目（授業科目）名	肢体不自由者の教育課程及び指導法（R6 認定講習）	
講師名	広島大学大学院人間社会科学研究科 准教授 船橋篤彦	
開講期日	令和6年11月30日～12月1日	
講 義 内 容		
<p>肢体不自由教育における教育制度・システムに関する基礎的事項（教育課程，教育機関の機能・役割等）について学習するとともに、肢体不自由教育の現状について理解を深める。また、障害の特性や心身の発達段階，姿勢・運動発達や認知発達の観点から肢体不自由児の教育・指導法について学習する。</p>		
一 日 目	8:45-9:00	オリエンテーション
	講義1 (9:00-10:30)	肢体不自由教育に関する基礎的事項／特別支援学校学習指導要領と教育課程を中心に
	講義2 (10:45-12:15)	肢体不自由児を対象とする教育機関とその特徴
	講義3 (13:15-14:45)	肢体不自由教育の現状と動向
二 日 目	講義4 (15:00-16:30)	肢体不自由教育における姿勢・運動や認知の指導とその展開
	講義5 (9:00-10:30)	肢体不自由児への指導・支援（1）自立活動の指導について
	講義6 (10:45-12:15)	肢体不自由児への指導・支援（2）教科の指導と配慮事項
	講義7 (13:15-14:45)	これからの肢体不自由教育～カリキュラムマネジメントと多職種連携～
	講義8 (15:00-16:30)	講義のまとめ（前半），単位認定試験（後半）

【携行品】

筆記用具，イヤホン

5) 病弱者の教育課程及び指導法

開設科目（授業科目）名	病弱者の教育課程及び指導法（R6 認定講習）	
講師名	広島大学大学院人間社会科学研究科 助教 村上理絵	
開講期日	令和6年8月24日・8月31日	
講 義 内 容		
<p>病弱教育の対象・制度・教育課程の編成方法とカリキュラムマネジメントの考え方や、病気のある幼児児童生徒への指導方法や配慮事項について概説する。また、病気のある幼児児童生徒の心理・病理や発達段階を踏まえ、教育的ニーズに応じた自立活動の設定や指導法に関する理解を深める。</p>		
一 日 目	8:45-9:00	オリエンテーション
	講義 1 (9:00-10:30)	病弱教育の現状と意義
	講義 2 (10:45-12:15)	病弱教育における教育課程とカリキュラムマネジメント
	講義 3 (13:15-14:45)	病弱教育の場と関係諸機関との連携
二 日 目	講義 4 (15:00-16:30)	病弱児の自己理解と自己管理
	講義 5 (9:00-10:30)	病弱教育における自立活動および教科学習と自立活動
	講義 6 (10:45-12:15)	病気や障害の状態に応じた各教科の指導上の配慮事項
	講義 7 (13:15-14:45)	病弱教育における体験的な学びと ICT 活用
	講義 8 (15:00-16:30)	講義のまとめ（前半）、単位認定試験（後半）

【携行品】

筆記用具、メモ用紙